

登録コード	A3595490	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	池田 敬
英文授業名	Thesis Research						
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	動物資源生命科学コース4年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2022Aカリ, 2021Aカリ, 2020Aカリ, 2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					専門的な知識や研究能力を修得している。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している。	
	2026A3編（24A）, 2025A3編（23A）, 2024Aカリ, 2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各自が設定された研究テーマにしたがって、調査等を進め、得られたデータを解析し、結論を導きます。また、野生動物を中心とした動物生態学に関する知識を養い、その基礎的アプローチを応用して、人と野生動物との関係を総合的に捉えられる能力を身につけます。						
(5)授業計画	1.研究計画の立案について 2.調査手法の習得について 3.研究の遂行について 4.結果のまとめと解析について 5.プレゼンテーション、対外発表について 6.論文作成について						
(6)自主学習の指針	参考書や論文を熟読し、各自の基礎知識の向上に日々、努めてください。						
(7)成績評価の基準	調査計画の立案、調査の実施、そして卒業論文の作成です。 これら3点の内容を総合的に判断し、その内容が授業の達成目標の水準から見て、『卓越している』＝秀／『かなり上にある』＝優／『やや上にある』＝良／『その水準にある』＝可とします。						
(8)事前事後学習の内容	専攻研究に関わる研究論文を探索し、最新の情報を入手、整理してください。 また、ゼミで指摘された点については、修正ののち、指導教員への確認を怠らないでください。						
(9)テストやレポートの予定	特にありませんが、卒業論文の提出は必須です。						
(10)成績評価の方法	卒業論文提出、専攻研究発表、研究への取り組み姿勢によって総合的に評価します。 卒業論文を提出しない人には、単位を認定しません。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問等は、メールあるいは対面で随時受け付けます。 ikedat_a13@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	フィールド調査を中心とし、野生動物の生態に興味がある人、獣害問題を解決したい人は大歓迎です。 専攻研究を実施する上で、動物系の講義、実験、実習は必要となるので、可能な限り受講しましょう。 フィールドワークが多いので体力、気力が必要です。						
【教科書】	特になし						
【参考書】	特になし						